

月刊  
いきいき道政報告  
第19号

日本共産党 道議会議員

**佐野 弘美**

発行

日本共産党  
佐野弘美事務所  
北区北20西5 2-27

Tel 011-299-6560  
Fax 011-299-6670

初詣客に 元旦のご挨拶  
明るく元気に おめでとう

好天に恵まれた17年元旦、佐野道議は篠路・江南・新琴似の各神社で、参拝に訪れる善男善女に、恒例となった新年のご挨拶をいたしました。

### 佐野道議の報告

共産党道議団が4人になってはや2年になるうとしています。昨年の本会議ではアベノミクスと消費税・TPP・自衛隊の実弾射撃・知事の海外出張など知事の政治姿勢について質問をいたしました。文教委員会では学校の図書の実質、アスベストの危険性・水産高校実習生の投票権などを質してきました。暴走する国政の防波堤となる道政を目指し、がんばります。



新琴似神社で道政報告  
佐野道議（左端）

新春のお喜びを申し上げます。

昨年は三大悪法の強行など、安倍政権の暴走が深刻の度を深めるもとで、野党共闘が広範囲に広がり、かつ前進した一年でした。道議団は、安倍政権に追従する高橋道政に、真正面から対決してきました。

TPPはもちろん、未曾有の台風への被害対策、明治時代に戻るような鉄道路線の見直し案、豊かな自然と相容れないカジノの導入などを質し、私自身も議会活動や、調査、懇談など様々な活動から学び、成長することができました。

あちこちで“ポスト真実”が語られ始めたように、市民が政治を動かす年になるような気がいたします。酉年の今年、高らかに声をあげていこうではありませんか。

皆様のご多幸とご健勝を、心から祈念いたします。

今年もよろしく願いいたします。

佐野 弘美

## 道政報告会

「4 定」を終えて

12 月 17 日、北区民センターと拓北とれがで道政報告会を行いました。

法律を決める国と、生活に密着する行政サービスを担う基礎自治体の中間にある北海道の特性を説明しつつ、増えたとはいえ 4 人の少数で、過半数を占める自民党(内 40 人が日本会議)と渡り合って奮闘する道議団の活動と、佐野道議が 4 回定例議会に取り上げたカジノや学校図書に関わる質問についてお話ししました。

両会場から、たくさんの発言をいただきました。文教委員を意識してか、経済徴兵と奨学金・学校の耐震化・就学援助・学校図書予算・冬期オリンピックなど教育関係の意見が多くありました。他、道議会議事庁舎改築、

国保の道移管、新幹線と在来線などについても意見交換しました。

拓北会場 右 2 人目佐野道議



## アスベスト問題

北区民センターの暖房

17 日、区民センターの報告会会場は、応急の石油ストーブ暖房で寒さが身にしみましたが、年明けにボイラー暖房が回復しました。改善を申し入れたアスベスト問題は、暴露された可能性のある従事者の健康管理以外は、解決をみたことになりません。

## 保育料下げて

保育料軽減を求めて活動する父母の会の皆さんから、多子世帯の保育料軽減に向けての支援の要望を受けました。多子世帯の保育料負担は、「年少扶養控除」がなくなつたこともあり、一層深刻です。安心して産み育てられる北海道を目指して、ご一緒に力を尽くす決意です。

## 番号変更

2 月 1 日から、諸般の事情により電話番号等が下記に代わります

Tel 011-790-6411

Fax 011-790-6412

よろしく願いいたします

要請書類を受け取る菊地・佐野道議



# 北海道労働委員会

## ついに実現 公正任命



北海道労働委員会は、2年任期の公益・経営者・労働者の、各立場側委員それぞれ7名で構成されます。各立場側の委員1名、計3名で各案件にあたり、不当労働行為を調査・審問して命令をだしたり、労使紛争の斡旋・調停及び仲裁を行います。ブラック企業が横行する当世、労働者・労働組合の強い味方です。

### 知事を動かしたものの

知事の偏向を是正させた力は、労働組合のみならず、弁護士・学者、そして何度も道議会で追及した道議団です。

### 直近は9月の代表質問

その労働者委員が、13期26年間にわたり、連合推薦の委員のみが任命される不公正が続いてきました。

### 都府県で12番目

道労連は、10年にわたる裁判闘争をたたかい、最近の3

菊地道議は、「知事の労働委員任命に対して、三度にわたり違法判決が下されたことを重くうけとめ、労組法上の推進制度の趣旨を尊重した委員選任の決意をすべき」と質しました。



前列左から4人目 赤坂副議長

2列右から3人目佐野道議



# JR北海道の13線区鉄路見直し案

## 撤回めざし国会議員と現地調査

### 二手に分かれて

12月21日、日本共産党国会議員団とともに、JRの地方線の調査を行いました。

留萌線と札沼線は、阜山・清水の両衆議員と真下・佐野の両道議が、日高本線は、紙・山添の両参議員と菊地道議が分担しました

### 留萌札沼線では

留萌線沿いの沼田町で金平町長と、札沼線沿いの浦臼町で齊藤町長と懇談しました。

「沿線自治体だけでなく、北海道全体の問題として長い目で公共交通のあり方を考えるべき。高校生の通学が不便になり、人口流出が更に進む。弱者に優しい鉄路を守るべきだ」など、両町長さんの指摘

を、もっともだと思いつながら伺いました。

浦臼町で、古くからの農家を訪ね、お話を伺いました。

すでに当別町以北の札沼線は1日1往復にまで減らされているので、「人口が少ない



右の齊藤町長と懇談する調査団  
右から四人目 佐野道議

から仕方がない」という諦めも広がっていると感じました。

鉄路を守ることは、北海道の公共交通を守ることです。

地域振興をかける声にだけに終わ

らせないためにも道や国の取り

組みが必要だとの思いを強くしました。

### 翌日合流

#### JR北海道本社にて

まず日高線の鶴川・様似間の廃線発表に強く抗議し、計画の撤回を求めました。

JR北海道は、全道の鉄路の半分にもおよぶ13線区について、単独では維持困難で、

現状のJRの収支では安全が保てなくなると強調しました。

国鉄の分割・民営化路線が破たんして、現状の枠組みでは、鉄路を維持することができなくなっているのです。

### 道庁にて

道は、今月末までにまとまる有識者や首長、JR北海道などによるワーキングチームでの議論を受けて、方針を決めていくといひます。

沿線自治体まかせにせず、全北海道的課題と受け止め、道が中心的役割を果たすよう要請しました。

### 労組訪問

分割・民営化路線の破たん、安全対策にも最低限の予算しか確保されず、社員の賃金も全国のJRの中で最低で、労働者の年代が偏り技術継承も困難となりました。

### 議会にむけて

今後、人口減少や地域経済振興などの対策とともに、北海道の地方公共交通を守る議論が求められます。

今回見聞きしたことを力に、引き続き全力で取り組みます。